

# 職業訓練用教材開発支援システム 構想について

～職業訓練用教材データベース調査研究～

平成4年度

雇用促進事業団 職業訓練大学校

職業訓練研修研究センター

(平成5年4月 職業能力開発大学校研修研究センターに改称)

# 目 次

1. 職業訓練用教材の現況と教材開発支援の必要性	1
1-1. 現行の職業訓練体系と動向	1
(1) 職業訓練の体系	1
(2) 現行の訓練体系による職業訓練の実施状況	3
1-2. 職業訓練用認定教科書の開発状況	4
(1) 職業訓練用教科書の開発体制の変遷	4
(2) 現在の開発体制と問題点	5
1-3. 職業訓練に使用されている教科書の状況	6
(1) 教科書使用状況	6
(2) 各種教科書の選定理由	10
(3) 図書教材以外の教材の開発・使用状況	11
1-4. 自作教材作成状況	12
(1) 教材の開発体制	12
(2) 教材開発の時間	13
(3) 教材作成に係るOA機器の利用率	14
(4) 教材を作成する上で必要な情報	15
(5) 自作教材提供の可能性	16
1-5. 職業訓練用教材開発支援システムの必要性	18
2. 職業訓練用教材開発支援システムの情報内容	21
2-1. 指導員の訓練実施に係る行動と支援システムの現状	21
(1) 訓練実施計画の策定段階	21
(2) 訓練実施の準備段階	22
(3) 訓練実施の段階	24
(4) 訓練内容の見直し段階	24
2-2. 入力すべき教材情報の種類と内容	28
3. 構築すべき教材開発支援システムの概要	32
3-1. 教材開発支援システムの基本的考え方	32
3-2. データベースシステムの特徴	33
(1) データベースシステムの現状	33
(2) 教材データベースシステム	33
(3) CD-ROMを利用した分散システムの利点	34

3-3.	ネットワークシステムの特徴	35
(1)	教材開発のためのネットワークシステム	35
(2)	通信回線	35
(3)	開放形システム	36
3-4.	使いやすい教材作成システムとしての特徴	36
(1)	ユーザインタフェース	36
(2)	DTP環境の整備	36
(3)	新しい形態の教材作成への対応	37
(4)	施設内LANの構築	37
3-5.	システム要件	38
(1)	ホスト系	38
(2)	端末系	39
3-6.	システムの概念図	39
4.	知的所有権	41
4-1.	データベースにかかる著作権	41
(1)	著作権法によるデータベースの保護	41
(2)	データベースの著作権	42
4-2.	教材データベースにかかる著作者の権利	42
4-3.	仲介業務団体の実態	43
4-4.	出版者の権利	44
4-5.	著作権問題にかかる処理体制の必要性	44
(1)	自作教材の提出方法	45
(2)	著作権侵害等の確認及び審査	45
(3)	著作者に対する許諾	46
(4)	許諾料	46
5.	今後の検討課題	48
5-1.	運用範囲と責任体制の明確化	48
5-2.	入力データの収集及び開発	48
5-3.	管理運営体制の確立	49
5-4.	システムの具体化	50
資料編		51